

令和7年度第3回東大和市社会教育委員会議要録

1 会議日時

令和7年6月17日（火）午前10時から11時30分まで

2 会議場所

中央公民館視聴覚室

3 出席者

（1）社会教育委員（7名）

池田議長、外池副議長、橋本委員、杉本委員、才郷委員、森脇委員、半田委員

（2）事務局（3名）

廣瀬生涯学習課長、神山生涯学習課文化生涯学習担当係長、荻沢生涯学習課主事

4 欠席者（2名）

大島委員、藤井委員

5 会議の公開・非公開

公開

6 傍聴者

0名

7 議題

（1）令和7年度東大和市社会教育関係団体連合体に対する補助金の交付に伴う答申について

（2）研究テーマの検討

（3）その他

8 会議資料

資料1：令和7年度東大和市社会教育関係団体連合体に対する補助金の交付について
（答申）

9 議事内容

（1）令和7年度東大和市社会教育関係団体連合体に対する補助金の交付に伴う答申について

・議長

答申案については、事前に各委員に意見照会をして作成しているが、追加の意見等はあるか。

- ・委員

補助金交付団体が減っているが、解消するための取組が必要ではないか。

- ・委員

周知することは必要であるが、一方で予算上限額は変わらないと思われるため、どの程度周知するかが難しい。

- ・議長

いただいた意見を参考とし、答申案のとおり決定し、本日教育長に答申することとする。

(2) 研究テーマの検討

- ・議長

資料「令和6～7年度「提言」研究の主題設定に向けて」に沿って、研究テーマの方向性について、再度確認したい。あくまでも社会教育委員の視点で、考えていきたい。

- ・委員

検討テーマのうち「近くの地域住民」と「自治会」は同じではないか。課題なのは、自治会に加入していない人や子離れした親世代であり、人とのつながりをどう維持していくかが課題である。

- ・議長

旧吉岡邸の見学に行ったが、素晴らしかった。小中学生にもたくさん見てもらいたいと思った。

- ・委員

社会教育の範囲は広い。この地域の防災防犯がどうなのかをまずは我々委員が知って、それを社会全体に発信することが使命である。各団体での取組を吸い出して、それをまとめることが社会教育委員にできることである。

- ・委員

各分野の事例を取り上げ、それを分析していく形か。

- ・委員

研究テーマごとに、既に活動している団体がある。その団体を分析（どんな活動をしているか等）していく。団体が無い場合はそれが課題になる。

先日、社会福祉協議会主催のボランティアセンター設営訓練に参加したが、若い方が登録していることを知って感動した。このように現場に足を運ぶことが大事ではないか。

- ・議長

若い方をどう入れるのかという視点も大事である。若者が活躍する団体を研究してみるのも良い。

- ・委員

私の自治会では、自治会通信を若者に任せるように方向転換した。その結果、内容が大きく変わり好評であった。このような取組が必要である。

- ・委員

1 提言当たりの長さはどの程度か。

・議長

1 提言当たり、1～2 ページ程度でお願いしたい。

・議長

ある自治体には、提言に基づき、ペット防災についてペットを中心とした避難所開設訓練を積極的に取り組んでいる団体がある。その団体は、独自の講座を開催し、その後実際に訓練をしている。このような取組を今回の提言で紹介しようと考えている。

外国の方や障害者に関しても同様の研究ができないか。

・委員

外国の方に日本語を教える会が公民館で活動しているため、後日活動の様子を見学してみたい。

・委員

「ひきこもり中高年」と「一人暮らし高齢者」は似ている。1 つにまとめられないか。

・委員

ひきこもり、高齢者及び障害者は絞りすぎのため、もう少し広げてはどうか。「高齢者」「障害者」程度が良いのではないか。

・委員

手助けが必要であるという点で共通している。

・議長

それでは、手助けが必要な家庭としてまとめる方向で良いか。

・委員

これらは、社会的弱者として括することもできる。そこからサブテーマとして独居高齢者等と、各委員の得意分野を研究してもらえれば良いのではないか。

担当として割り振られるよりも大きなテーマに対して自由に研究してもらい、それを取りまとめた方が、各委員活動しやすいのではないか。

・議長

各委員がある程度自由に研究し、それを持ち寄りまとめていくという方針ということか。

・委員

パーツを組み合わせていくイメージである。

・委員

与えられたテーマに対して事例を提示し、解釈し、提言していくと考えていた。事例を集めるためには取材、ネタ収集が必要であり、どう対応していくか苦慮している。

・委員

拾い集めて形にしていくことで、年末には形になるのではないか。

・議長

事務局はどう考えるか。

・事務局

事例紹介で終わるのではなく、提言になっていることが重要であるとする。

・委員

提言と聞くと萎縮してしまう。

- ・議長

市に提案できる良い機会であると捉えることもできる。大枠のテーマに対して、社会教育委員の立場から見て、対象団体は満足なのか分析することとする。次回会議では、その点について各委員1節分まとめてきてもらい、持ち寄ってほしい。

- ・委員

完璧なものを作ってもらいたいのではなく、次回会議で議論できるネタとして持ち寄ってきてほしい。

- ・副議長

思い付いたことをありのままに書いて持ち寄ったら、「これは良い！」というものが出てくるはずだ。「こうした考えが市全体に広がってほしい」という案が出てきてほしい。そうした視点で持ち寄ってきてほしい。

- ・委員

提出方法、期限は。

- ・事務局

7月11日（金）中に事務局に提出してほしい。

- ・委員

先述の外国の方に日本語を教える団体の活動見学について、事務局と調整したい。

- ・事務局

了解した。

- ・議長

日中、街を歩いていると高齢者や外国の方が多いと感じた。それ以外の方は働きに出ている。ある日、高齢者が暑い中、駅前に一人でいて心配になった。

- ・委員

こうした人を助けてくれる人がいない。

- ・議長

社会情勢が大きく変わってきている。育児休業の充実により、保育園の財政状況が悪くなった。朝食を食べてこない共働き世帯の児童に対して、学校で朝食を出そうかと都で検討している。

- ・委員

家庭学習充実により学校に来なくても良い環境になってしまうかもしれない。

- ・議長

社会の変化にアンテナを張っていると、どうしたらいいか分からなくなるくらい、常識が変わってきている。

- ・委員

給食費無償化、修学旅行無償化等、とにかく補助が多くなっている。

- ・委員

入学時にアンケートは取っていないか（朝食食べているか等の生活調査）。

- ・議長

学校単位で実施しており、学校が把握していると思われる。

(3) その他

・議長

防災学習会の周知

・副議長

本日のまとめとして、次の2点が決定した。

- ①令和7年度東大和市社会教育関係団体連合体に対する補助金の交付について、答申がまとまった。
- ②研究テーマについて、自分だったらどう取り組むかを自由に執筆してもらい、7月11日までに事務局へ提出する。

・議長

本日の会議はこれで終了とする。次回開催日は、7／15（火）午前10時からで場所は、中央公民館視聴覚室である。

以上